

1・はじめに

岐阜ＪＣは、２００６年に新しいまちづくり運動ビジョン「アクティブコンパクトシティぎふ」～安らぎ 賑わい 助け合いのあるまち～を制定し、ビジョン実現のための運動方針を「Spiral Up Gifu Power!」と決めました。この間、私たちは、ぎふのまちで市民力・企業力・行政力の３つの力が相乗効果を生み出し、まちの活力を最大化させていくことを目指し、まちづくり運動に取り組み成果をあげてきました。

しかしながら、あらゆるインフラの整備により世界が近くなった今、私たちは、「井の中の蛙大海を知らず」ではなく、一歩進んだ「ひとづくり・まちづくり」運動に挑戦していくために、対外との積極的な交流をしていく必要があります。なぜなら、交流から相手を持つ素晴らしい魅力を岐阜ＪＣの活動に活かしていくことで、お互いが持つ強みを持ち寄り連携をしていくことは、今までは不可能であった、或いは、考えもつかなかったようなより良い創造性豊かな活動を実現することができるからです。

かつてぎふのまちは全国から多くの人々や商品、文化を集め、多様な個性を融合させることで賑わいを創出し、繁栄を極めました。私たちは、そういった歴史に学び、外部の多様な魅力的な個性を集め、融合させていくことで、ぎふのまちが日本だけでなく世界中の人々から魅力を感じてもらえるまちになることを願っています。

ぎふのまちの将来を見据えながら、地域や地域の人々に必要とされるより良いまちづくり運動をしていくために、ネットワーク委員会は、交流から生まれる岐阜ＪＣの新たな可能性を一年間追い求めてきました。この報告書が、皆様にとって、対外との積極的な交流の必要性を感じて頂くと共に、岐阜ＪＣの創造力豊かな活動に繋がる一助になれば幸いです。

2. 交流・連携結果報告

■ ネットワーク委員会が感じた交流相手との今後の可能性

	総務・組織活性化	青少年育成	C D	L D
2-1 富山 J C	○	○	◎	△
2-2 姉妹 J C	△	○	○	△
2-3 姉妹都市	×	△	◎	△
2-4 地域の諸団体	○	△	○	○

◎大いに可能性あり ○可能性あり △今回は気づきが得られなかったが可能性を感じる ×対象外

2-1・富山 J C との交流

交流テーマ:「お互いを知り、まずは全体事業に参加してみよう！」

■ 交 流 実 績

● 第 1 回岐阜 J C ・ 富山 J C 合同スタッフ会議

日時：２００９年２月４日（水） 場所：高山市『ひだホテルプラザ』

出席者：岐阜 J C 玉田副理事長、浅野室長、加納委員長、他副委員長 2 名

富山 J C 島田副理事長、石崎委員長、形川副委員長、他委員 2 名

● 第 1 回岐阜 J C ・ 富山 J C 合同会議

日時：２００９年３月１６日（月） 場所：岐阜市『鶴匠の家すぎ山』

出席者：岐阜 J C 内藤理事長、玉田副理事長、辻専務理事、浅野室長、加納委員長、他副委員長 4 名、委員 7 名

富山 J C 松井理事長、島田副理事長、藤谷専務理事

● 第 2 回岐阜 J C ・ 富山 J C 合同会議

日時：2009年6月16日（火） 場所：富山市『富山第一ホテル』

出席者：岐阜JC 玉田副理事長、戸野部副理事長、浅野室長、加納委員長、水岡委員長、他副委員長2名、委員3名
富山JC 島田副理事長、石崎委員長、形川副委員長、他委員6名

●スポーツチャレンジぎふ2009訪問・・・富山JC

日時：2009年7月19日（日） 場所：岐阜メモリアルセンター『で愛ドーム』

参加者：富山JC 形川副委員長、他委員5名

●スイーツフェスタぎふ2009訪問・・・富山JC

日時：2009年8月1日（土） 場所：岐阜市柳ヶ瀬周辺

参加者：富山JC 島田副理事長、形川副委員長、他委員4名

●※JCデー訪問・・・岐阜JC

日時：2009年9月5日（土） 場所：富山市 親水広場及び富岩運河環水公園 ボルファートとやま

参加者：岐阜JC 内藤理事長、玉田副理事長、辻専務理事、浅野室長、加納委員長、他副委員長3名、委員3名

※富山が行うJCデーとは??

富山JCが行う全体事業（毎年開催され、富山JCの活動を広く富山市民に発信する事業）

2009年度は、「輝く未来のとやまへ」をテーマに、富山JCが考えるとやまの魅力や未来像を市民に発信する目的で開催された。

メイン会場のステージでは、市長と建築家の対談があり、今後どうやって富山市を良くしていくべきなのかを市長の方針と建築家の知識をうまく融合してとやまのまちの未来像について発信していた。また、富山JCの活動をパネルにて展示したり、行政やプロスポーツチーム、UCと連携して「ひとづくり・まちづくり」運動を発信しているブースなどを設けたりしてJCの活動を一般市民に広く発信していた。また、周辺会場では、金美齡氏をお招きして「新しい世代を育てる」という演題からこれからの青少年育成の在り方についての講演があった。講演では、一般市民が主体者意識を持って青少年育成に取り組むことが大切であると語っていた。そして、金美齡氏、富山市PTA連絡協議会会長、富山JC理事長のパネルディスカッションでは、家庭・学校・地域が三位一体で青少年育成に取り組むことが大切であるとまとめられていた。

■ 交流から岐阜JCが感じた可能性

●総務・組織活性化

気づき：岐阜JCでは理事選出に関して理事長予定者の推薦で決定しているが、富山JCでは半数が理事長予定者の推薦からなり、残りの半数はメンバーの投票によって決められるメンバー参加型の人事である。



：230名の会員に対し事務局員一名で運営していることから固定経費削減について学ぶべき点がある。

：富山JCは議案書システムを電子化して経費を削減していることから学ぶべき点がある。

可能性：他のLOMIには必ず見習うべき魅力があり交流することで良いシステムを取り入れることができる。

●青少年育成

気づき：富山JCが、必要としている青少年育成事業の視点を岐阜JCが持っていることが分かった。（家庭・学校・地域（三位一体）が一緒になって行う全体事業）



可能性：富山JCメンバーの子どもが所属する小学校からスポーツチャレンジへの参加を実現させることで、富山JCの青少年育成事業に協力できると共に、岐阜JCの青少年育成事業に対する想いを広域に伝播することができる。

●CD (コミュニティ・ディベロップメント)

気づき: 富山JCでは、ASPAC金沢・全国大会福井の連携協力から始まった関係を継続発展させ、今後の道州制
↓
を見据えながらより実践的な活動を他北陸3LOM(富山・金沢・福井)との広域連携で目指し協議をしていることが分かった。

可能性: 北陸3LOMの手法を取り入れることで、より積極的に近隣LOMと交流連携できる可能性がある。

気づき: 富山JCとの交流で岐阜JCは富山の海産物の必要性を伝えたところ、富山JCからは、富山は岐阜の野菜
↓
や果物に興味があり重宝していることが分かった。

可能性: 地域特産物交流を行政や一般企業を巻き込んで発展させることでまちの賑わいに繋がる可能性がある。

気づき: 富山JCの活動の発信や事業の作り込みのために、行政や商工会議所などの団体と月1回交流することで相
↓
互理解やJCの活動に対する支援体制が整っている。

可能性: 行政や商工会議所などの団体と定期的に意見交流会を開催する。そこで、組織の運営方法や事業活動について意見を交わすことでより実践的な事業構築や協働事業の実現に繋がる可能性がある。

気づき: 富山JCは積極的かつ効果的な活動を通じて、市民一人ひとりに「ひとづくり・まちづくり」運動の大切さ
↓
を理解してもらっている。

可能性: 一般市民を巻き込んだ事業でJCの活動内容をもっとアピールすることにより、市民による自発的なまちづくりの必要性を啓蒙することができる可能性がある。

■ 全体事業を見学に来られた富山JCからの感想

スイーツフェスタぎふ2009について

●市・市民との協働連携、助成金を引き出す力、中高生サポーターなどをうまく取り入れているところが今後の参考になった。

●岐阜JCの活動をPRする場面が少なく感じた。

(例えばスポーツチャレンジの映像を流すなどアピールがあってもいいのでは?と感じた。)

●昨年度からの引き継ぎ・検証が活かされたP→D→C→Aサイクルが感じられる事業であった。ぎふスイーツガーデン構想実現に向け、更なる大きな市民ムーブメント(市民行事)になると確信した。

●富山JCでは継続事業をしていないが、この事業から継続事業の必要性や大切さを大いに感じた。

スポーツチャレンジぎふ2009について

●非常に多くの感動を頂いた。小学生(子)学校関係者(先生)・親、設営側のJCサポーター、そして中高生サポーターや司会進行や実況をした大学生(よさこいアトラクション含む)と世代を超え、地域に住む多くの方々を巻き込んだ素晴らしい事業だった。

●富山JCでもこのような地域を巻き込んだ継続事業が行えないかと感じた。

●将来的にはこの事業が誇れる事業として市民に引き継がれる日が来ると感じた。



第1回岐阜J C・富山J C合同会議（鶴匠の家すぎ山にて）



J Cデー訪問（富山にて）

2-2・姉妹J Cとの交流

交流テーマ：「お互いの活動を知りグローバルな価値観を学ぼう！」

■ 交流実績

● インターチェンジコースミーティング

日時：2009年6月6日（土） 場所：長野市内ホテル

出席者：APEX-JC 陳会長、他3名

岐阜J C 内藤理事長、荒深、玉田、加藤副理事長、辻専務理事、浅野室長、加納委員長、委員12名

■ 姉妹J Cとの交流から感じた今後の可能性

● 青少年育成

気づき：30人31脚の活動説明に関して、外国人である彼らも、香港には今までにないものであり、子どもと親と先生の絆を作るのに非常に有効な青少年育成活動であると深く共感してくれたこと。



可能性：APEX-JCから「30人31脚の共同開催」に興味があり、両国とも教育、青少年育成に対して非常に熱心であるので、この事業をきっかけにグローバルな視点で教育について考える交流に発展していく可能性がある。

● CD（コミュニティ・ディベロップメント）

気づき：今回交流をしたAPEX-JCがある香港は、歴史的な背景の中で多くの言語を身に付け、様々な文化が融合しているからこそ国際感覚に優れ、世界中から人や物が集まり都市が発展してきたと感じた。



：日本のマンガは海外で評価が高く、まちづくりの切り口としてアニメが利用されることもある。

可能性：ここ5年で訪日外国人旅行者数は60%も増加しており、来岐する観光客の中で、中国・台湾・韓国からの客が最も多くを占めている。その観点から、韓国のLOMなどとも姉妹締結することも視野に入れることで、外国人観光客の岐阜への呼び込み強化など、新たなまちの賑わいに繋がる事業を創出できる可能性がある。
：アニメを切り口とした国際交流をすることで、新たなまちの魅力を創造できる可能性がある。



インターチェンジコースミーティング（長野にて）

2-3・岐阜市姉妹都市との交流

交流テーマ:「岐阜市の姉妹関係にある6つの都市を知り交流しよう！」

■ 交流実績

● 第1回会談

日時：2009年1月20日（火） 場所：市役所国際課

出席者：市役所 加納課長、銭氏

岐阜JC 浅野室長、加納委員長、他副委員長3名

● 第2回会談

日時：2009年2月13日（金） 場所：商工会議所1F

出席者：杭州市 杜副主任、他杭州市3名、浅野課長他2名

岐阜JC 戸野部副理事長、水岡委員長、加納委員長、他副委員長2名



第2回会談

● 第3回会談

日時：2009年4月28日（火） 場所：市役所会議室

出席者：杭州市 徐副主任、他6名、浅野課長他2名

岐阜JC 加納委員長、他副委員長2名

● 「スイーツフェスタぎふ2009」杭州市スイーツ紹介

日時：2009年8月1日（土） 場所：旧長崎屋

ネットワーク委員会設営

● 第4回会談（「スイーツフェスタぎふ2009」の報告）

日時：2009年8月18日（火） 場所：市役所会議室

出席者：市役所 浅野課長、銭氏

岐阜JC 加納委員長、他副委員長3名



第3回会談

■ 姉妹関係にある都市との交流から感じた今後の可能性

● CD（コミュニティ・ディベロップメント）

気づき：国際課は、岐阜JCの実行力やレスポンスの早さに魅力を感じており積極的に交流する意欲がある。

：岐阜市は6つの姉妹都市とも積極的に交流しており、今後岐阜JCが他の姉妹都市と交流する上で窓口となり協力して頂ける。



：外郭団体の国際交流協会は、姉妹都市と岐阜JCの交流事業において、国際課ではできないより踏み込んだ協力や助成金申請などをサポートして頂ける。

：役所の都合上、事業で連携する場合は事業を行う前年から協議を開催しなければならない。

可能性：姉妹都市の魅力が岐阜市民に伝えることや、岐阜市の魅力を姉妹都市に広く知ってもらうために、お互いの市民が気軽に観光できる環境を行政と共に創出することで、相互の観光による賑わいを創出できる可能性がある。

：姉妹都市間で観光モニターを実施し、グローバルな視点からぎふのまちの新たな魅力づくりに対してお互いの市民の意見を頂くことで、新たな観光資源を創出できる可能性がある。

2-4・地域の諸団体との交流

交流テーマ:「地域で活動している諸団体を調査しよう！」

■ 交流実績

● (社) 岐阜経営者協会 青年経営者部会

日時: 2009年4月7日(火) 場所: 商工会議所

出席者: 岐阜経営者協会 澤村氏

岐阜J C 加納委員長、他副委員長3名、中島委員

● (社) 岐阜経営者協会 青年経営者部会

日時: 2009年4月16日(木) 場所: ホテルパーク

出席者: 岐阜経営者協会 例会出席者

岐阜J C 加納委員長、他副委員長2名

● 岐阜県中小企業家同友会 岐阜地区青年部

日時: 2009年5月19日(火) 場所: グランヴェール岐山

出席者: 岐阜県中小企業家同友会 岐阜地区青年部 総会出席者

岐阜J C 加納委員長、他副委員長2名

● 岐阜商工会議所

日時: 2009年6月4日(木) 場所: 商工会議所

出席者: 岐阜商工会議所 齊藤事務局長

岐阜J C 加納委員長、他副委員長2名、三森委員

● G-net

日時: 2009年6月4日(木) 場所: G-net

出席者: G-net 秋元代表

岐阜J C 加納委員長、他副委員長2名、三森委員



(社) 岐阜経営者協会 青年経営者部会



岐阜商工会議所

●組織活性化

気づき: 岐阜経営者協会・岐阜県中小企業家同友会共に会員の拡大を積極的に進めている。



岐阜J Cが会員募集するために、諸団体の会員名簿を入手することができる。

可能性: 今回例会に参加した岐阜県中小企業家同友会や(社)岐阜県経営者協会青年経営部会などとは、岐阜J Cの組織活性化に必要な新会員の情報収集という面での可能性がある。

●CD (コミュニティ・ディベロップメント)・LD (リーダーシップ・ディベロップメント)

気づき: 岐阜商工会議所は常に行政に対して提言、調査研究や行政からの委託事務を行っているので、行政が検討する「まちづくり運動」などをいち早く知ることができる。



CD・LDを実践していく上で有益な情報を地域の諸団体の例会などに参加することで得ることができる。

お互いの活動の活性化のために、行政・商工会議所・地域の諸団体・岐阜J Cが連携できることが分かった。

可能性: 行政や商工会議所などの団体と定期的に意見交換会を開催する。そこで、組織の運営方法や事業活動について意見を交わすことでより実践的な事業構築や協働事業の実現に繋がる可能性がある。

岐阜経営者協会、岐阜県中小企業家同友会、岐阜商工会議所など、お互いの団体が持っている強みを活用しながら、ぎふのまちにある企業の魅力を世界に発信していくことを目的としたビジネスフォーラムを共同開催することで、ぎふのまちの企業力向上に繋がる可能性がある。

あとがき

一年を通じてネットワーク委員会は、約30回にも及ぶ交流をしてきました。そして、その交流の中から私たちは、今まで気づかなかった「ひとづくり・まちづくり」運動に繋がるヒントを多く得ることができました。しかしながら、そのヒントをこれからの岐阜JICの活動に活かしていくためには、ただ交流してお互いを知るだけではなく、具体的に目指していきたい「ひとづくり・まちづくり」運動に対してテーマを決め協議していく場を設けていく必要があると感じました。そして、その協議の中から新たなぎふのまちの魅力の創出に繋がる事業の構想を立ち上げ、お互いに連携しながら活動していくことが大切だと感じました。例えば、今年の「スイーツフェスタぎふ2009」は、行政・市民団体・サポーターが一体となったことによって素晴らしい賑わいが創出できました。また、富山JICでは、毎月、富山市・富山商工会議所と協議をしていくことで、協働事業を計画したり、お互いの活動を発信したりしています。富山JICの全体事業も対外との連携による効果的な事業の成功例であると考えます。最終的には、連携事業を検証することで、お互いの活動に活かし、より効果的で広域的な「ひとづくり・まちづくり」運動をローカルからグローバルへとネットワークを構築しながら展開させていくことが、私たちJICの使命である「明るい豊かな社会」の実現に繋がるのだと考えます。基本的にJICの事業は単年度制ですが、スイーツガーデン構想を実現していくために継続して事業を行うように、対外との交流についてもお互いの活動に活かしていけるレベルで、大きな効果を得ていくためには、一定期間継続して活動を行っていく必要があります。今後は、そういった交流を続けていくことで、ぎふのまちが持つ魅力を世界に発信し、まちの魅力を更に高めていく活動に繋がれば本当に素晴らしいことだと思います。

ぎふのまちが繁栄を極めた時代、それは人・物・情報が集まり、活力に溢れ、力強く成長するアクティブなまちでした。この背景には間違いなく様々な交流が寄与していたことを多くの交流から思い知らされる一年でありました。岐阜JICのまちづくり運動ビジョンを実現していくためにも、今後も対外との積極的な交流が必要であることを皆様にお伝えして、2009年度ネットワーク委員会の交流・連携の活動報告とさせていただきます。

2009年度ネットワーク委員会

委員長	加納	岳人
副委員長	森井	隆裕
	伊藤	宏樹
	加藤	雅彦
	佐々木	正太郎
委員	石田	昌平
	岩村	雅人
	後藤	聡
	篠田	新司
	関谷	泰晴
	中島	生益
	三森	秀樹
	加藤	忠昭
	加納	浩二
	堀	俊幸